

HOMEE MIX

NEW DJ GENERATION



CDJ-1

ENGLISH, NEDERLANDS
FRANÇAIS, DEUTSCH
ITALIANO, PORTUGUÊS
ESPAÑOL

WELCOME TO THE WORLD OF HOMEMIX

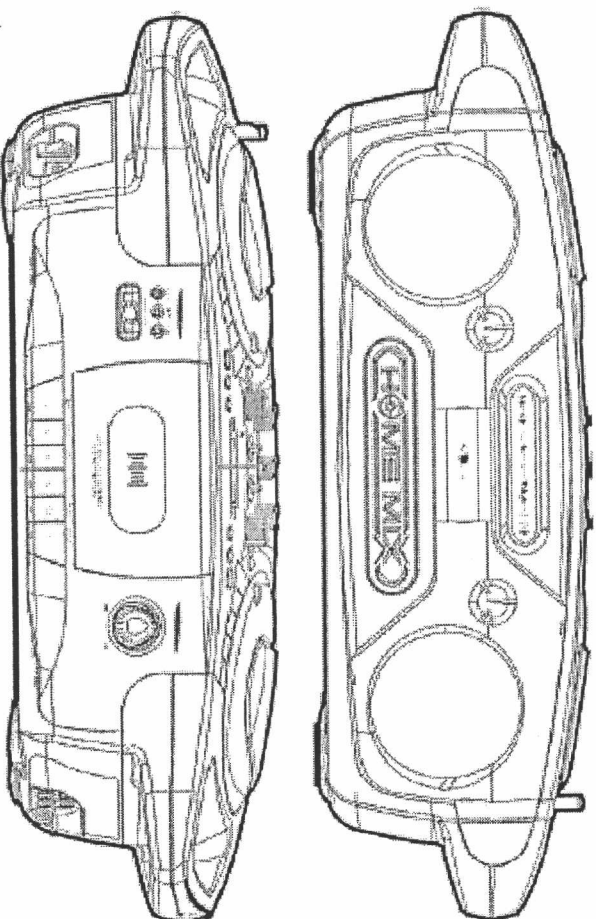
1、はじめに

このたびは、HomeMix DJ System CDJ-1をご購入いただき有難うございます。このホームミックスDJシステムは、多くのDJミキシング・フアンのご要望に応じて、手軽にDJミキシングを楽しんで頂くために生まれました。CDJ-1をご使用になる前に、装備している各機能についての操作方法や使い方を知らるために、必ずこの取扱説明書の目次に掲げられた項目について、全てをお読みいただきHomeMix DJ Systemを快適に使いこなしていただくようお願い致します。

1、はじめに	1 ページ
2、安全上のご注意	2
3、ご使用上の注意	4
4、接続について-1	5
5、接続について-2	6
6、CD操作について	7
7、ミキサー操作パネル部	8
8、チューナー操作パネル部	8
9、カセットテープレコーダー操作パネル部	9
10、トラゾルシューティング	10
11、仕様、保証・アフターサービスについて	11

【ご使用上の注意について】

- ・CDJ-1は、主にA.C電源でご使用になることをお勧めします。
- ・電池駆動でご使用の場合は、十分な性能を発揮できるように、良質の単1形アルカリ乾電池をご使用下さい。
- ・CDJ-1ご使用中には、音飛びなどの原因になりますので、強いショックや振動を与えぬようにご注意ください。



2、安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしていますので「安全上のご注意」の内容をよくご理解下さいようお願い致します。



警告

この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



電源プラグをコンセントから抜く

- 記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。図の中に具体的な表示内容（上図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。



分解禁止

- 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（上図の場合は分解禁止）が描かれています。



電源指を挟まれたり
いよう注意抜け

- △ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（上図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

警告



電源プラグをコンセントから抜く

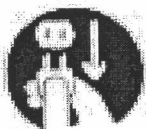
- 万一、煙が出ている、変なにおいや音が出たり、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して、機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
- 万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



水槽での使用
禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠ 注意



電源プラグをコンセントから抜く

- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。



- オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したリコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力傷害などの原因となることがあります。
- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にはほこりのたまつたまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談してください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



- 調理台や加湿器のそばなど湯煙が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

3、ご使用上の注意

電源について

- 雑音を発生する装置 モーター、調光器など や消費電力の大きい機器とは、異なるコンセントを使用して下さい。
- 接続する際は、誤動作、スピーカーなどの破損を防ぐため、必ず全ての機器の電源を切ってから行って下さい。

設置について

- この機器の近くにパワーアンプなどの大型のトランスを持つ機器があると、ハムやうなりを誘導することがあります。この場合は、本機との間隔や方向を変えて下さい。
- テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色むらが発生したり、ラジオから雑音が出る場合があります。この場合は、この機器を遠ざけて使用して下さい。

お手入れについて

- 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、強く絞った布で汚れを拭き取って下さい。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きして下さい。
- 変色や変形の原因となるベンジン、シンナー及びアルコール類は、使用しないで下さい。

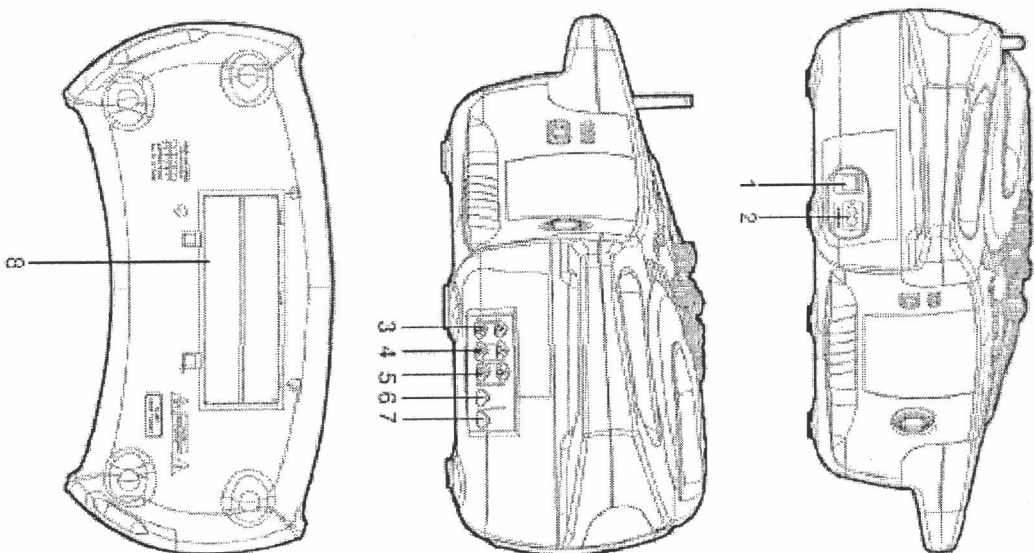
修理について

- お客様が本機を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合がございます。
- 当社では、この製品の補修用性能部品製品の機能を維持するために必要な部品を、製造打ち切り後、6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期限とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げのお店または、当社商品の取り扱い店にご相談下さい。
- 本機の保証期間は1年ですが、クロスフェーダーやインプットフェーダーなどを耐久性の超えた使い方をスクラッチプレイでใช้งานになった場合等には、通常のパーツの耐久期間1年以上が、数ヶ月に短縮されてしまうことがあります。その場合、保証内で修理に出されても、消耗部品という判断により、パーツ交換代として実費を請求させていただきます。

その他の注意について

- 故障の原因となりますので、スイッチ、ツマミ、入出力端子などに過度の力を加えないで下さい。

4、接続について-1



1、電源スイッチ

CDJ-1の電源を入り切りするためのメイン電源スイッチです。CDJ-1を長時間ご使用にならないときには、この電源スイッチを切っておかれるようお勧めいたします。

2、AC IN

CDJ-1のAC100V電源入力端子です。付属の電源接続コードを使用して、室内のAC100V電源コンセントなどに接続して下さい。

3、FX SEND (L/R)/4、FX RETURN (L/R) 端子

CDJ-1に外部EFFECTORを接続して使用することができます。FX SEND (L/R) 端子に外部EFFECTORなどの入力端子を接続し、FX RETURN (L/R) 端子にはそのEFFECTORの出力端子を接続して下さい。(次ページ参照)

5、AMP OUTPUT (L/R) 端子

CDJ-1の出力を外部のパワーアンプ等に接続して、別のスピーカーシステムを使用する場合に、この端子を使用します。この端子にRCAピンプラグケーブルを接続するとCDJ-1に内蔵スピーカー出力はカットされます。またこの端子出力を、別のミキサーのライン入力として使用することもできます。出力レベルは0dB (0.775V) です。(次ページ参照)

6、MIC INPUT 端子

マイク入力端子です。インピーダンス600Ωタイプのマイクロフォンのご使用をお勧めします。(次ページ参照)

7、PHONES

ステレオヘッドホン出力端子です。インピーダンス32Ωタイプのヘッドホンのご使用をお勧めします。(次ページ参照)

8、BATTERY収納室

CDJ-1は乾電池でもご使用になれます。単一形 (0タイプ1.5V) 高性能アルカリタイプ乾電池を6本使用します。乾電池をセットするときにはCDJ-1の底部のバッテリー収納室の蓋に表示されている[INSERT BATTERYS IN THIS ORDER]の文字の下に表示されている図を参照して、極性を間違えないように正しくセットしてください。

乾電池は液漏れなどの心配がありますので、寿命の切れた電池や、長時間CDJ-1をご使用にならない場合は必ず電池を収納室から取り出すようお願い致します。電池の寿命は使用状況により異なります。CDJ-1を大音量で連続使用した場合には大きな電流消費となりますので、寿命が短くなることをご承知ください。

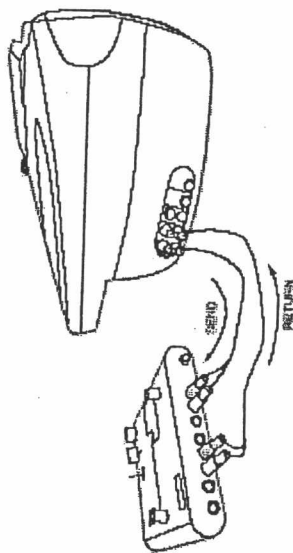
5、接続について-2

[FX SEND (L/R) & FX RETURN (L/R) 端子について]

DJの担当者はしばしば、音楽に加工音を追加するために、特殊なエフェクト:プロセッサ (FX) を使用している。CDJ-1に任意のエフェクトユニットに接続するためには、RCAピンプラグ付きの(L/R)ステレオケーブルを2本準備してください。

このケーブルを使用して、CDJ-1の側面パネルに備えられたFX SEND 端子(L/R)と、任意のエフェクトユニットの入力端子(L/R)を接続します。次にCDJ-1のFX RETURN (L/R)端子とエフェクトユニットの出力端子(L/R)を接続します。エフェクトユニットを接続した場合に出力レベルが変わることがありますのでエフェクトおよびCDJ-1のレベルを少し調節する必要がありますでしょう。

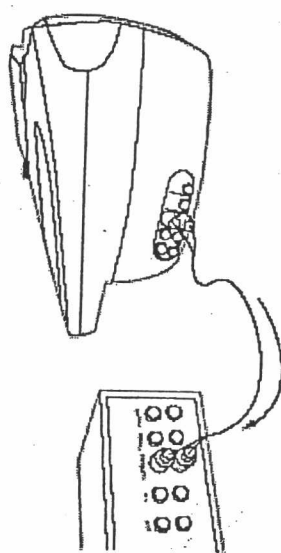
エフェクトユニットのレベル設定などについては、ご使用のエフェクトユニットに付属の取扱説明書を参照してください。



[AMP OUTPUT 端子 (L/R) について]

CDJ-1に内蔵のスピーカーのサイズでは最大出力の限度があるため、より大音量の出力が必要な場合を考慮して、CDJ-1には外部アンプ接続用の出力端子 (L/R) を備えています。

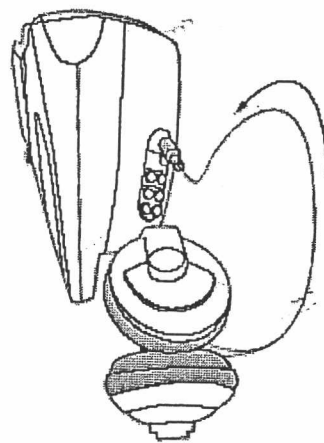
CDJ-1の側面パネルに備えられたOUTPUT (L/R) 端子に、RCAピンプラグ付きの(L/R)ステレオケーブルを接続しもう一端を用意した外部アンプの入力端子に接続します。出力レベルは0 dB (0.775Vrms) で、このレベルはほとんどのオーディオ機器の入力レベルに対応します。尚、この接続を行った場合はCDJ-1の内蔵スピーカーの音はカットされます。



[PHONES 端子について]

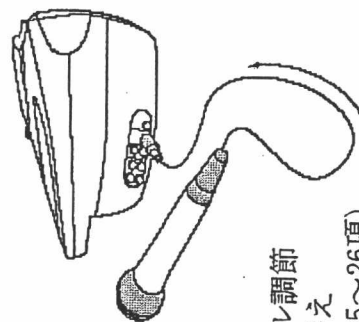
CDJ-1のヘッドフォンモニターはPFL (Pre Fader Listen) タイプですのでミックスする前の音 (CH1/CH2フェーダーが絞ってある状態でも) をモニターすることが出来ます。

ヘッドフォンのケーブルの端子は1/4インチ (6.3mm) 径フォーンプラグステレオタイプです。ヘッドフォンレベル調節やCH1/CH2のヘッドフォンモニター切り替えスイッチの使い方については (8ページの25~26項) を参照してください。



[MIC INPUT 端子について]

DJパフォーマーマックスをより効果的にするマイク入力端子を備えています。使用するマイクは、できるだけインピーダンスが600Ωタイプをご使用ください。マイクケーブルに付いている端子は1/4インチ (6.3mm) 径フォーンプラグモノラルタイプであることをお確かめ下さい。マイクレベルの調整などについては、(8ページの24項) を参照してください。



6、CD操作について

1/11、CDドア・オープンボタン
CDドアのOPEN表示のあるクボミ部分を
押すことで開閉できます。

2/12、TIMEキー
このキーを押したびに、LCDの表示を
経過時間表示か残り時間表示にするかの
選択ができます。

3/13、PLAY/PAUSEキー
このキーを押して、CDをPLAYにします。
PLAY中に押すとPAUSEになります。

4/20、STOPキー
CDを停止状態にするときに押します。

5/18、SKIP/SEARCH (BACK) キー
このキーを0.5秒以下の長さで押すと
押す毎に手前のトラックにスキップし、
押し続けると早戻しになります。

6/19、SKIP/SEARCH (NEXT) キー
このキーを0.5秒以下の長さで押すと
押す毎に次のトラックにスキップします。
押し続けると早送りになります。

7/17、FRAME頭出しキー
CD演奏中の任意のポイントでPAUSE状態で、
このキーを押すと、そのポイントの短い
再生音がブザーとモニターで聞けます。
この状態でSEARCHブザーまたはダウンスキー
を押して任意の頭出しポイントを設定する
ことができます。

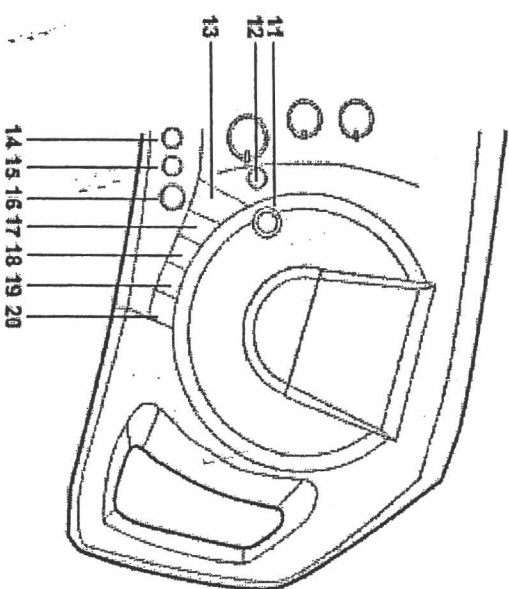
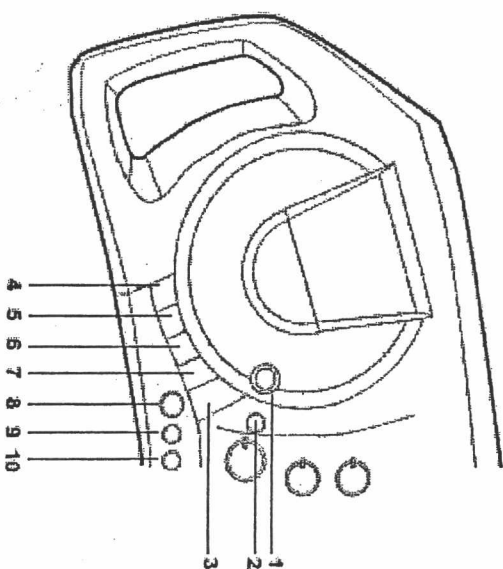
8/16、PITCHコントロール・キー
このキーを押しながらPITCH BENDキー(+)
または(-)を押したびにCD再生ピッチを1%
単位で可変でき、この設定値はLCD表示され
ます。設定状態は、OPENボタンを押してCD
ドアを開くと解除します。

9/14、PITCH BEND(-)キー
このキーを押すとCD再生速度が徐々に10%
ダウンし、指を離すと徐々に元の再生速度
に戻ります。

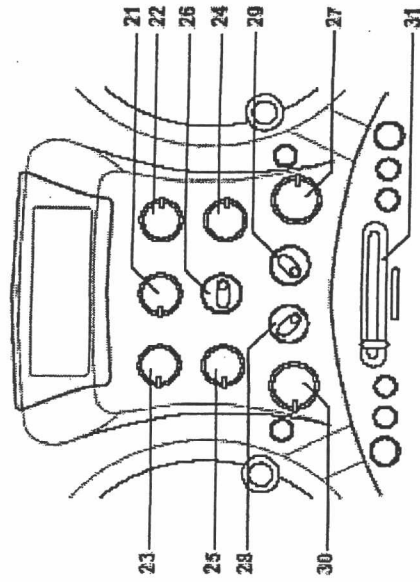
10/15、PITCH BEND(+)キー
このキーを押すとCD再生速度が徐々に10%
アップし、指を離すと徐々に元の再生速度
に戻ります。

DJミキシングについて

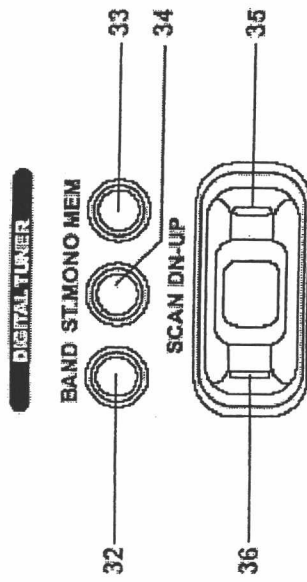
PITCH機能でCDの再生速度が可変できます。
この機能を使ってヘッドフォンでモニター
しながら、次はどのような音楽を再生する
か、今演奏中の曲との比較をすることがで
きますので、もし両方の曲のスピードが全
く同じならば、PITCH BEND (+)/(-)キーを
交互に押して音楽の速度をアップダウンし
てみることで、今演奏中の曲とビート
が一致するように調節します。
この作業は、決して易しくありませんので
十分に練習してから、本番に望んで下さい。



7、ミキサー操作パネル部



8、チューナー操作パネル部



21、TREBLEツマミ
マ스터出力の高域音質調整ツマミです。
10 kHzで±6 dBの可変ができます。

22、VOLUMEツマミ
マスター出力レベル調整ツマミです。

23、BASSツマミ
マスター出力の低域音質調整ツマミです。
100Hzで±6 dBの可変ができます。

24、LEVELツマミ
マイク入力レベルの調整ツマミです。

25、HEADPHONESツマミ
ヘッドフォン出力音量調整ツマミです。

26、HEADPHONES SELECTスイッチ
ヘッドホン出力として、CH-1またはCH-2
を選択します。ミックスする前のソース
モニター選択スイッチです。

27、CH2 FADERツマミ
CH-2ソースの再生音量調整ツマミです。

28、CH-1 CD1/TUNER SELECTスイッチ
CH-1のソース音源としてCD 1 とラジオ
チューナーを切り替えるスイッチです。

29、CH-2 CD2/TAPE SELECTスイッチ
CH-2のソース音源としてCD 2 とカセット
テープを切り替えるスイッチです。

30、CH2 FADERツマミ
CH-1ソースの再生音量調整ツマミです。

31、CROSS FADER
CH-1とCH-2間をクロスしてミックスする
フェーダーです。ツマミ位置がセンター
でCH-1とHC-2の音が均等のレベルでミッ
クスされて出力します。

もしラジオチューナーを出力したい場合
には、CH-1側のSELECTスイッチ (28) を
TUNER側にして下さい。

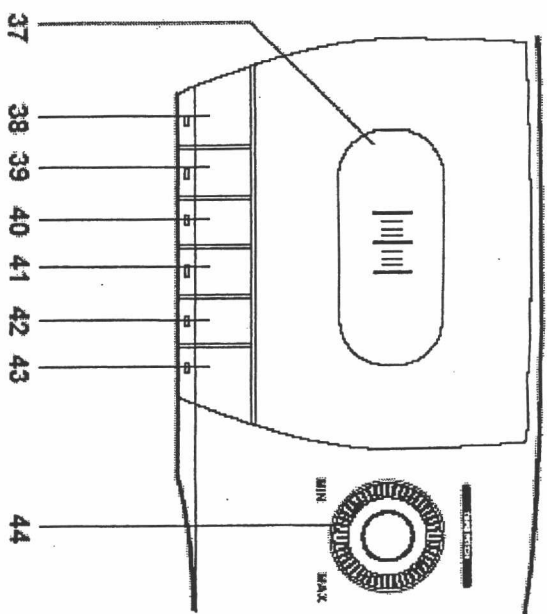
32、BANDキー
チューナーの受信バンドのFM/AMを選択
するスイッチです。

33、MEMキー
CDJ-1のラジオチューナーには、希望する
ラジオ局を任意に8局分まで登録し呼び
出すことができます。メモリー機能があります。
登録の方法は、希望する局を選択したら、
MEMキーを押しLCD表示のP-1～8の任意
のプログラム番号を選択してからMEMキー
を長押ししてプログラム番号が点滅し
たら、一旦指を離し直ぐに再度MEMキーを
押すことで登録完了します。プリセット
登録した局は、MEMキーを次々に押して
希望の局を呼び出します。

34、ST. MONOキー
FMステレオ放送を受信している時などに、
受信状態が悪く音質が不十分な場合に、
このキーを押してモノラルモードにする
ことができます。

35/36、SCAN UP/DOWNキー
チューナーモードで、このキーを1秒
以内の長さで押すたびに、受信周波数を
細かくアップまたはダウンできます。
1秒以上押し続けてから離すと、自動的
に受信が可能な放送局をサーチします。
サーチの途中で再び押すとサーチを中止
します。

9、カセットテープレコーダー操作パネル部



38、RECキー

カセットテープレコーダーで、CDやチューナー、AUX入力(RETURN端子を使用時)、またはMIC入力などのソースを録音することができます。録音の操作は、録音用のカセットテープをセットして、RECキーを押すことによりPLAYキー(39)も連動して押されます。

録音レベルはCH1/CH2フエーダー(27/30)と、マスタートラックVOLUME(22)を使ってセットします。目安としてはLCDのバーグラフメーターを監視して、表示メーター表示で最大が+3dB以下で通常0dB前後が推奨レベルです。

39、PLAYキー

このキーを押してカセットテープを再生します。

40、REWキー

カセットテープを巻き戻す時に、このキーを押します。途中で止めたい時はSTOPキーを押します。

41、FWDキー

カセットテープを早送りする時に、このキーを押します。途中で止めたい時はSTOPキーを押します。

42、STOP/EJキー

テープ走行中にこのキーを押すと、停止状態になります。停止時にこのキーを押すとカセットドアが開きテープがエジエクトされます。

43、PAUSEキー

再生中にこのキーを押すと再生ポーズ状態になります。録音中に押すと録音ポーズ状態になります。もう一度押すと、続けて録音を開始します。テープに悪い影響を与えるのでPAUSE状態で長時間放置しないで下さい。

44、TAPE PITCHダイヤル

カセットテープのピッチコントロールを±5%の範囲で行えます。ダイヤルがセンサークリックの位置が標準スピードです。念のため録音開始時には必ずこのダイヤル設定位置を必ず確認してください。

37、CASSETTE ドア

CDJ-1前面にはアクリル製のカセットドアを備えています。このドアに、外部から大きな力を加えると、ドアがひび割れたり、ヒンジ機構が壊れてしまう恐れがありますのでご注意ください。

10、トラブルシューティング

故障などが発生した場合には、お客様からサービス部門にご連絡いただく前に事前に以下の点についてお調べいただくようお願い致します。
尚、保障期間およびアフターサービスなどにつきましては、(11ページ)をご参照ください

＜ご注意＞：静電気による火花放電は予測できない問題を発生することがあります。例えば、操作キーを全く受け付けなくなる場合があります。
このような状態になった時には、速やかに操作を中止して電源プラグをコンセントから抜いてください。

1、電源が入らない、動作しない

- ・AC電源コンセントのスイッチがONになっているか確かめてください。
- ・AC電源ケーブルが断線していないか調べてください、また、CDJ-1のAC IN端子に確実に差し込まれているか確認してください。
- ・POWERスイッチをOFFにし、AC電源コードをコンセントから抜いて、1分後にもう一度差し込んでPOWERスイッチをONにしてみてください。
- ・内部のフューズが切れていないか、最寄の販売店等に頼んで調べてもらってください。
- ・電池で動作している場合には、極性が間違っていないか確かめてください。電池が古くないか確かめてください。

2、音が出ない、音が小さい

- ・CDJ-1のVOLUMEツマミをもっと右に廻して音量が上がるか確かめてください。
- ・CH1およびCH2 FADERツマミは左側に絞られていませんか？右に廻して音量を上げてみてください。
- ・SEND端子とRETURN端子にケーブルが接続されていて、外部エフェクター側の端子が接続されていない状態になっていませんか？この状態ではインサートポイントで信号がカットされ音が出ませんので、ケーブルをSEND端子とRETURN端子から抜いてください。
- ・外部エフェクターが接続されている状態で、エフェクターの電源がOFFになっていませんか？
- ・OUTPUT端子にケーブルが接続されていて、外部アンプの入力端子に接続されていない状態になっていませんか？この状態では内臓スピーカーは内部でカットされ内臓スピーカーは鳴りませんので、ケーブルをOUTPUT端子から抜いてください。
- ・外部アンプやスピーカーが接続されている状態で、外部アンプの電源がOFFになっていませんか？
- ・CDデイスクが正しくセットされているか確かめてください。(本機はオーディオ用CD以外の、CD-RおよびCD-RWに就いては保証してません)
- ・カセットテープが正しくセットされているか確かめてください。
- ・クロスフェーダーツマミの位置がセンターにセットされていますか？
- または、再生したい目的のソース・チャンネルではなく、クロスフェーダーのツマミ位置が反対側にセットされていませんか？

3、CD再生のピッチコントロールができない。

- ・ピッチの可変操作方法は、CDを再生中にPITCHキーを押しながらPITCH BEND(+)/(-)キーを押します。LCDに可変値を表示します。
- ・PITCH BEND(+)/(-)キーだけでピッチを変えた場合には、+10%/-10%の固定した2種類のピッチ変化になります。この操作の場合には、これらのキーから指を離すと、前にセットされたピッチ値に戻って再生されます。

4、再生または録音時にテープスピードが標準速度より早すぎる、または遅すぎる。

- ・テープのピッチコントロールダイヤルのセンター・ドットがゼロ・ポジション(12時位置)にセットされているか調べてください。この位置がずれていると、テープが標準スピードで走行しませんが、正規の音程から外れて再生または録音されてしまいます。

11、仕様

内臓スピーカー出力	: 5Wrms×2 (THD 10%)
HEADPHONE出力端子	Total Music Power, 25W
AMP OUTPUT端子出力レベル	: 推奨負荷インピーダンス32Ω
SEND端子出力レベル	: -4dB (0.5V)
RETURN端子入力レベル	: -4dB (0.5V)
MIC端子入力レベル	: -55dB (8.0mV)
TREBLEトーンコントロール	: +6dB/-6dB. at center freq. 10kHz
BASSトーンコントロール	: +6dB/-6dB. at center freq. 100Hz
使用CDタイプ	: CDオーディオ(CD-R/CD-RWは非対応)

CDピッチコントロール	: +10/-10%, 1%/Step
TAPEピッチコントロール	: +5/-5%
チューナー受信バンド	: FM 76.0MHz~96.0MHz, 100kHz/Step, AM 522KHz~1629KHz, 9kHz/Step,
チューナー・メモリー局数	: 8局
AC電源	: AC100V, 50/60Hz
DC電源	: 単1アルカリ乾電池×6本
消費電力	: 約40W
質量(電池質量を除く)	: 約4.5kg
外形寸法(W×D×H)	: 580×265×190mm

12、保証・アフターサービスについて

◆保証書(別途添付)について

保証書は必ず「取扱店名・購入日」などの記入を確かめ取扱店から受け取っていただき、内容を良くお読みの上、大切に保管して下さい。

◆保証期間と保証内容について

保証期間は取扱説明書の注意事項にしたがった使用で、ご購入より1年間です。なお次のような場合には保証期間中、または保証期間経過後にかかわらず性能、動作の保証を致しません。また故障の場合の修理についてもお受けいたしかねます。

「本機を改造して使用した場合、不正使用や使用上の誤りの場合、または他社製品や純正以外の付属品と組み合わせて使用したときに、動作異常などの原因が本機以外にあった場合」

・故障、故障の修理に伴う営業上の機会損失(免失利益)は保証期間中、および保証期間経過後にかかわらず保証いたしかねますので、ご了承下さい。

◆修理を依頼されるとき

もう一度取扱説明書をよくお読みいただき、トラブルシューティングの項などを参考に確認の上、次の要領で修理を依頼して下さい。なお異常がある場合には、安全のため必ず電源プラグを抜いて置いてください。

＜保証期間中の場合＞

万一故障が生じたときには、保証書に記載されている当社無料修理規定に基づきまして、修理いたします。

＜保証期間が過ぎている場合＞

修理を行えば使用できる故障につきましては、ご希望により有償修理いたします。

＜ご相談窓口＞

- 1、本機をご購入になられた販売店
- 2、発売元：ベスタクス株式会社

〒154-0023 東京都世田谷区若林 1-18-6
電話：03-3412-7011、FAX：03-3412-7013